議第１号説明資料②

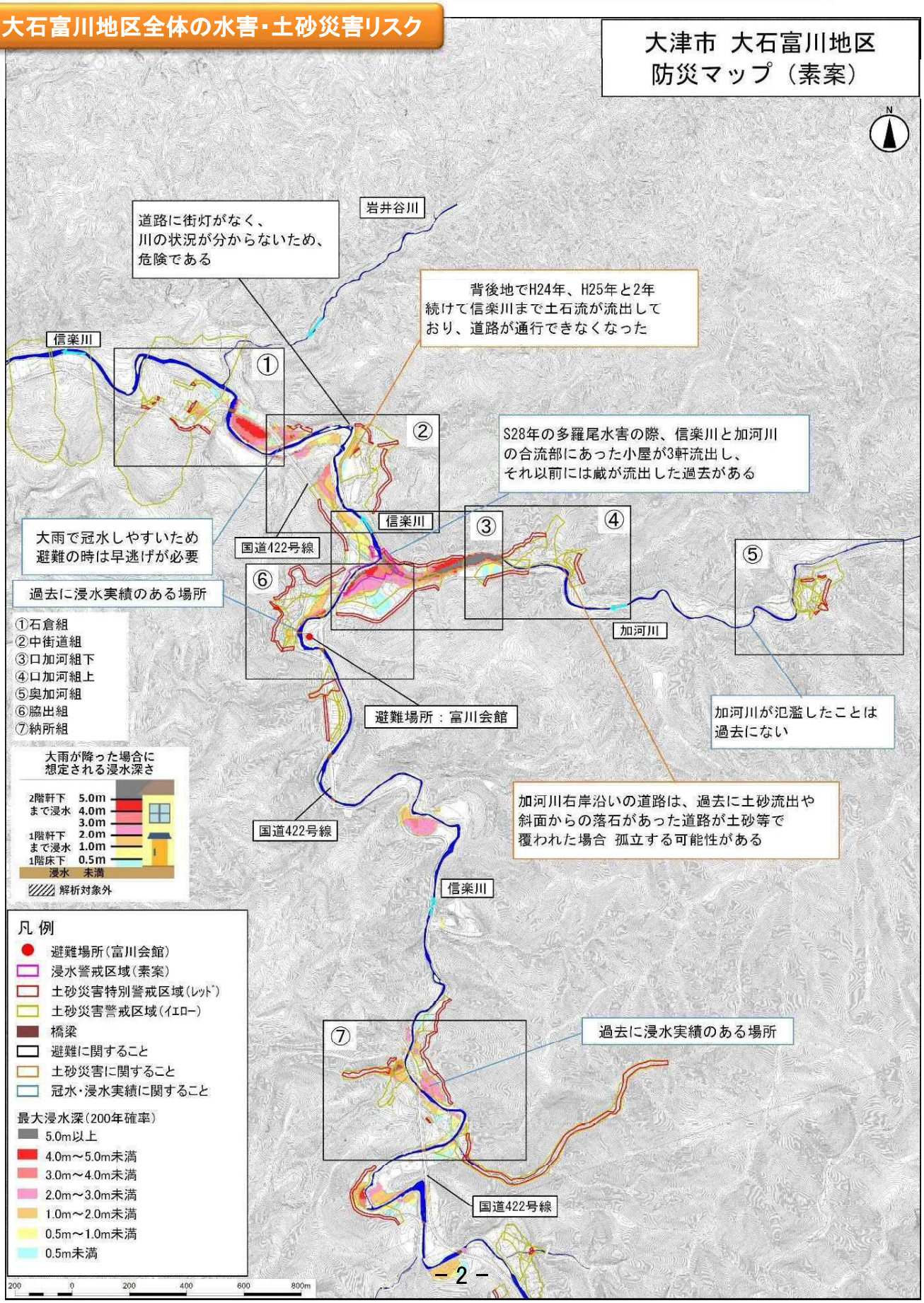
保存版

大津市大石富川地区　石倉組
水害・土砂災害に強い地域づくり計画
概要版

大津市大石富川地区　石倉組
水害・土砂災害に強い地域づくり計画　概要版

第Ⅰ章　水害・土砂災害に強い地域づくり計画策定の必要性

大石富川地区全体の水害・土砂災害リスク



大津市大石富川地区　石倉組
水害・土砂災害に強い地域づくり計画　概要版

水害リスク

◆ 200年に1度の大雨が降った場合、大石富川地区の信楽川沿いでは、想定浸水深が3m以上のエリアがあります。3m以上浸水するエリアでは、家屋の2階も浸水する危険があります。

◆ 想定浸水深が3m未満のエリアでも、床上、床下浸水の恐れがあります。

◆ 河川や水路から氾濫した水の流れの強さが建物などに与える力（流体力）が大きな場所では、家屋流失の危険性があります。

土砂災害リスク

◆ 大石富川地区周囲の住宅裏手の山沿いには土砂災害警戒区域や、土砂災害危険箇所が並んでおり、土砂災害の危険も非常に高い地区です。

土砂災害防止法に基づく区域指定

○こんな場所が対象になります。

○調査の結果により、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域を指定します。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
＜土砂災害のおそれがある区域＞

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
＜建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域＞

計画策定の必要性

◆ 近年、滋賀県を含む全国各地で大雨や集中豪雨が頻発し、甚大な被害が発生。
◆ 大石富川地区では大雨時に家屋水没、床上・床下浸水、土砂災害の危険がある住宅が多数。
◆ 河川・砂防事業などハード面の整備を進めているが、整備に長期間を要し、さらに、今後計画を超過する災害が発生する可能性もある。

大石富川地区 水害・土砂災害に強い地域づくり計画

そなえる対策　いつ起こるか分からない水害・土砂災害に避難やたすけあいで「そなえる」対策

とどめる対策　10年後・20年後に大石富川地区を水害・土砂災害に強い地域にするまちづくり・住まいづくりを考える「とどめる」対策

R3年7月改訂版

第Ⅱ章　避難計画（そなえる対策）

避難の方針

【大型台風など、事前に大雨が予測される時】
- ✓ 早い段階（明るい時間帯、浸水が無い状態のとき）に避難場所へ行くことが第一！
- ✓ 浸水や土砂災害による被害のおそれがある家の方は、出来るだけ早い段階で、安全なルートを使って、安全な場所に避難する！
  - ➢ 水が深くなる方向・流れの速い区域に近づかない！
  - ➢ 流れが速い、溢れそうな危険な川・水路は避けて移動する。

【家の周りで浸水あるいは土砂災害が発生した等により、逃げ遅れた場合】
- ✓ 自宅の2階の山の斜面と反対側など、より高く安全な場所に避難する。

水害・土砂災害を想定した避難行動のタイムライン

各行動段階の判断は、以下の「判断の目安」を参考にします。

判断の目安	自主防災組織	自主避難の目安
警戒レベル1～2	気　象　情　報　に　注　意	
⇩		
警戒レベル3 大雨・洪水警報が発表 台風等で大雨が予想される場合 消防分団から連絡があった場合	**【役員＋消防団員】**富川会館に待機 ※待機メンバー３人以上で避難等の判断可 **【消防団員】** パトロールを実施（１時間に１回程度） **【組長】**無線機のスイッチを入れる	気　象　情　報　に　注　意
⇩		
警戒レベル3 大石富川の雨量・信楽川の水位・雨量レーダーで雲の動きをみて必要と判断される場合	自主防災組織を召集	避難の準備をする
⇩		
警戒レベル3 ①高齢者等避難が発令 警戒レベル4 ②避難指示が発令 ③土砂災害警戒情報が発表 警戒レベル5 ④大雨特別警報が発表 ⑤注視箇所の浸水が確認された時	**【組長】**各戸に避難等の連絡	左記①～⑤のタイミングのうち、一つでも該当したら 石倉組：集合場所 前広場 中街道組：集合場所 往生寺下 口加河組：集合場所 上:　前 下:地蔵さん前 奥加河組：集合場所 ＿の上道路 納所組：集合場所 ＿の前道路 脇出組：集合せずに直接 ⇩ **富　川　会　館　へ　避　難** **避難の際には土砂崩れに注意！** **雨の降り方から、無理に避難せず、各組の中で安全な場所（家）へ一時避難** 避難（集合）が困難な場合や逃げ遅れた場合（警戒レベル５）の場合は自宅２階の斜面の反対側へ退避
⇩		
安全の確保が確認できたとき	パトロール、被害状況確認 住民支援（特に要配慮者）	自　宅　へ

判断の目安

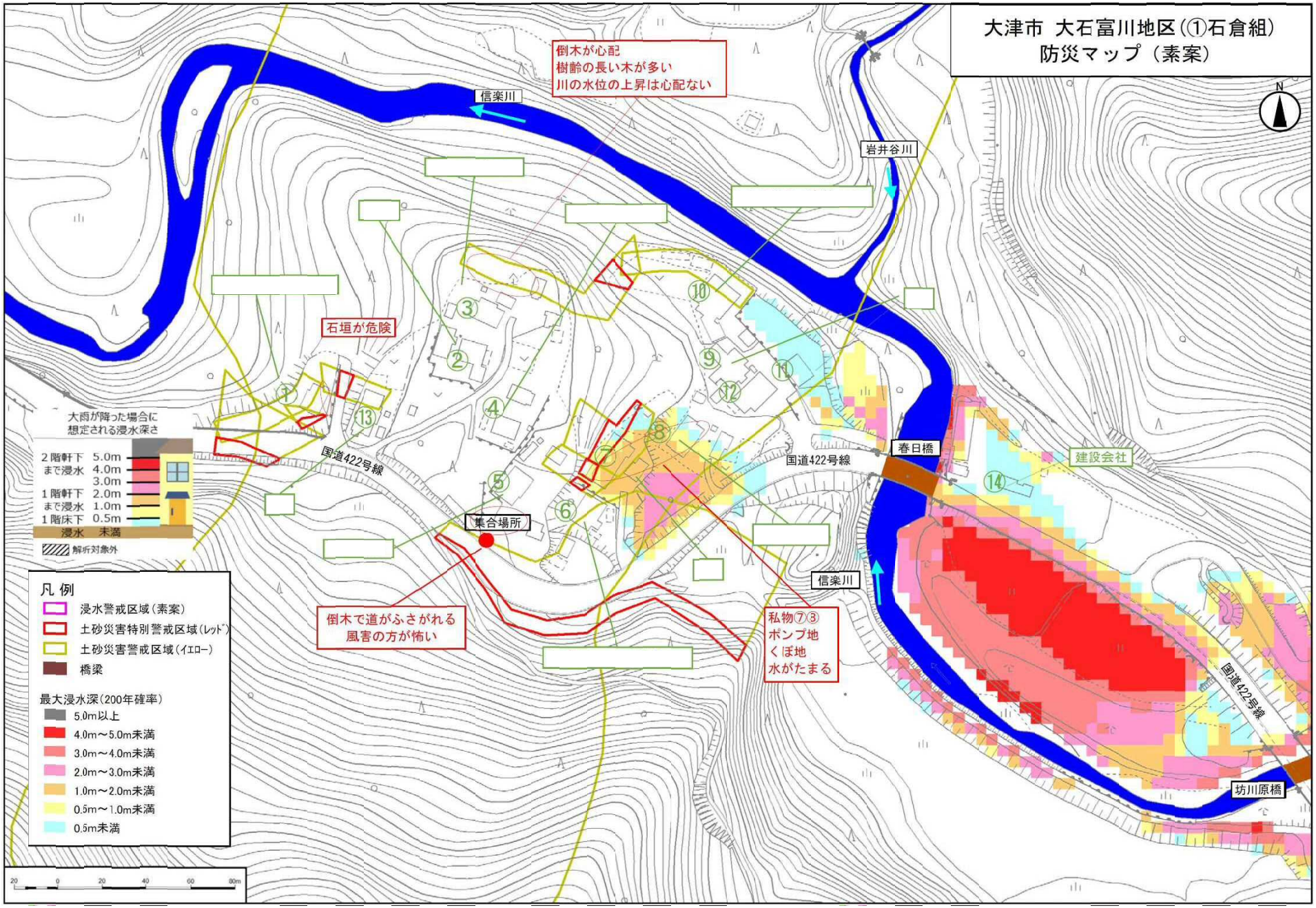
■待機・注意段階
- ① 大雨・洪水警報の発表があった時
- ② 台風等で大雨が予想される場合
- ③ 消防分団から連絡があった場合

■準備段階
- ① 大石富川の雨量・信楽川の水位・雨量レーダで雲の動きをみて必要と判断される場合

■避難段階
- ① 高齢者等避難が発令
- ② 避難指示が発令
- ③ 土砂災害警戒情報が発表
- ④ 大雨特別警報が発表
- ⑤ 注視箇所の浸水が確認されたとき

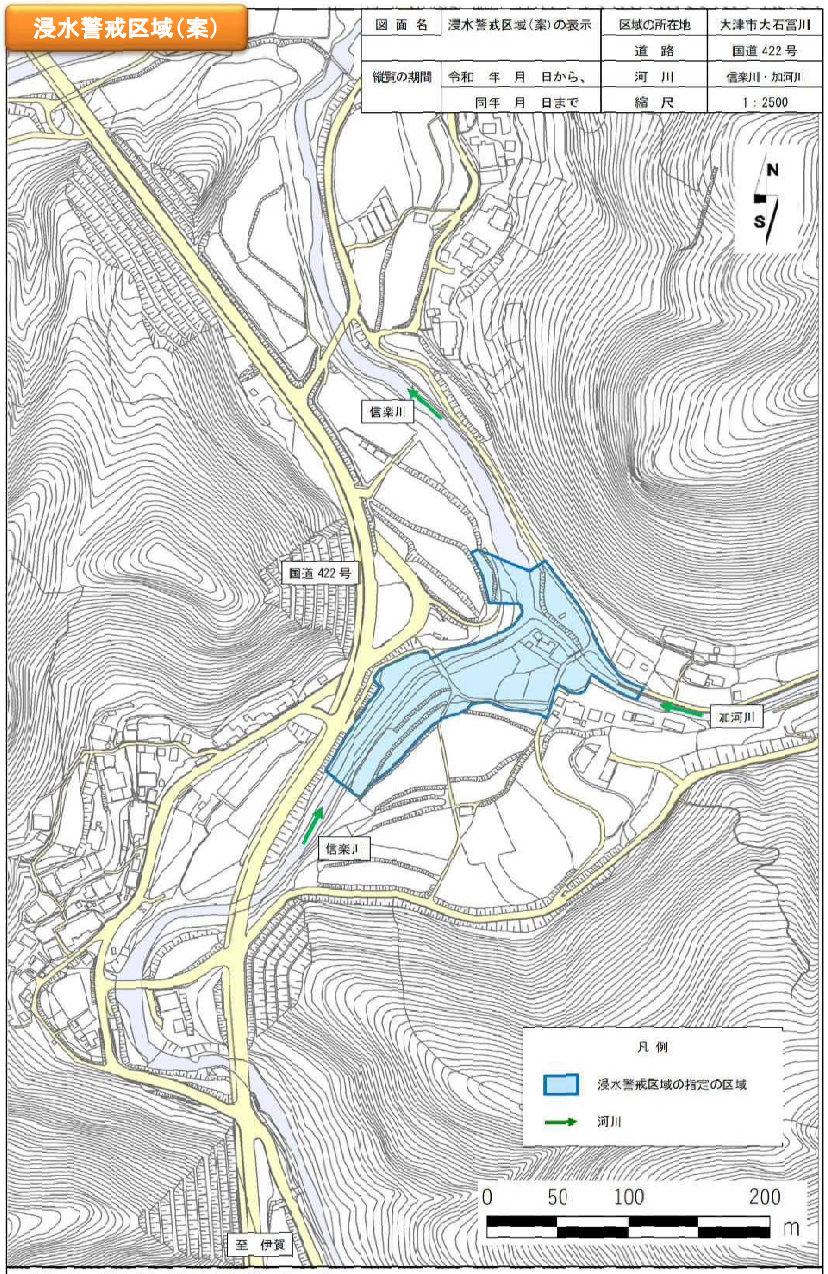
■状況確認・避難解除段階
- ① 安全の確保が確認できたとき

◆まずは自分の身は自分で守ってください。
◆富川町内のほとんどの家屋で土砂災害等の危険性がありますので、早めに富川会館へ避難してください。


大津市 大石富川地区（①石倉組）
防災マップ（素案）
倒木が心配
樹齢の長い木が多い
川の水位の上昇は心配ない
信楽川
岩井谷川
石垣が危険
国道422号線
春日橋
建設会社
集合場所
倒木で道がふさがれる
風害の方が怖い
私物⑦③
ポンプ地
くぼ地
水がたまる
坊川原橋
大雨が降った場合に
想定される浸水深さ
2階軒下 5.0m
まで浸水 4.0m
3.0m
1階軒下 2.0m
まで浸水 1.0m
1階床下 0.5m
浸水 未満
解析対象外
凡 例
浸水警戒区域（素案）
土砂災害特別警戒区域（レッド）
土砂災害警戒区域（イエロー）
橋梁
最大浸水深（200年確率）
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満

第Ⅲ章　安全な住まい方のルール（とどめる対策）

浸水警戒区域（案）



※背景図は、大津市都市計画図（白図）を使用している。

土地利用に関するルール

◆ 大雨時の遊水地としての機能のある農地は、できるだけ、農地としての土地活用を続けていきましょう。

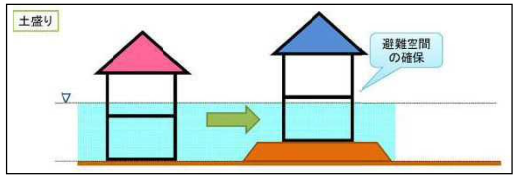
◆ 家を新築する時や建て替える時は、「地先の安全度マップ」を参考に、水害時にも逃げ場所のある家となるようにしていきましょう。

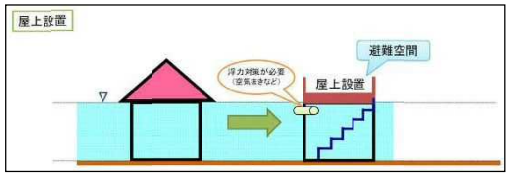
◆ 滋賀県の「浸水警戒区域制度」を活用しましょう。

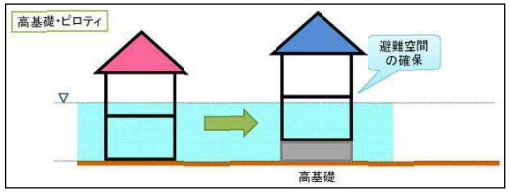
地区における住まいの安全を確保するためのルール

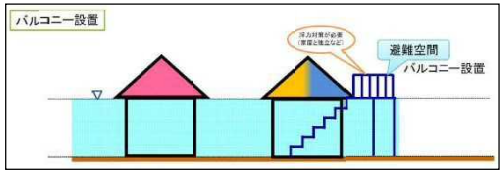
◆ 逃げ場所のある家とするには、以下に示すように、盛土を施す、バルコニーを作る、基礎を高くするなどの方法があります。浸水面より下となる部分は、浸水しても耐えられる丈夫さも求められます。

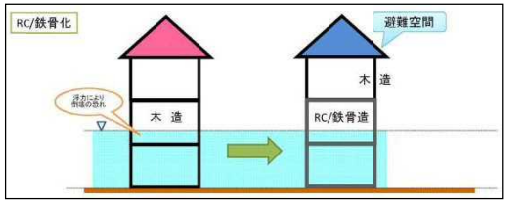
◆ 今すぐ行うことは難しいですが、住んでいる家の建替えなどに合わせて、2階床面の高さを「地先の安全度マップ」の想定水位より高くし、逃げ場所のある家となるようにしていきましょう。

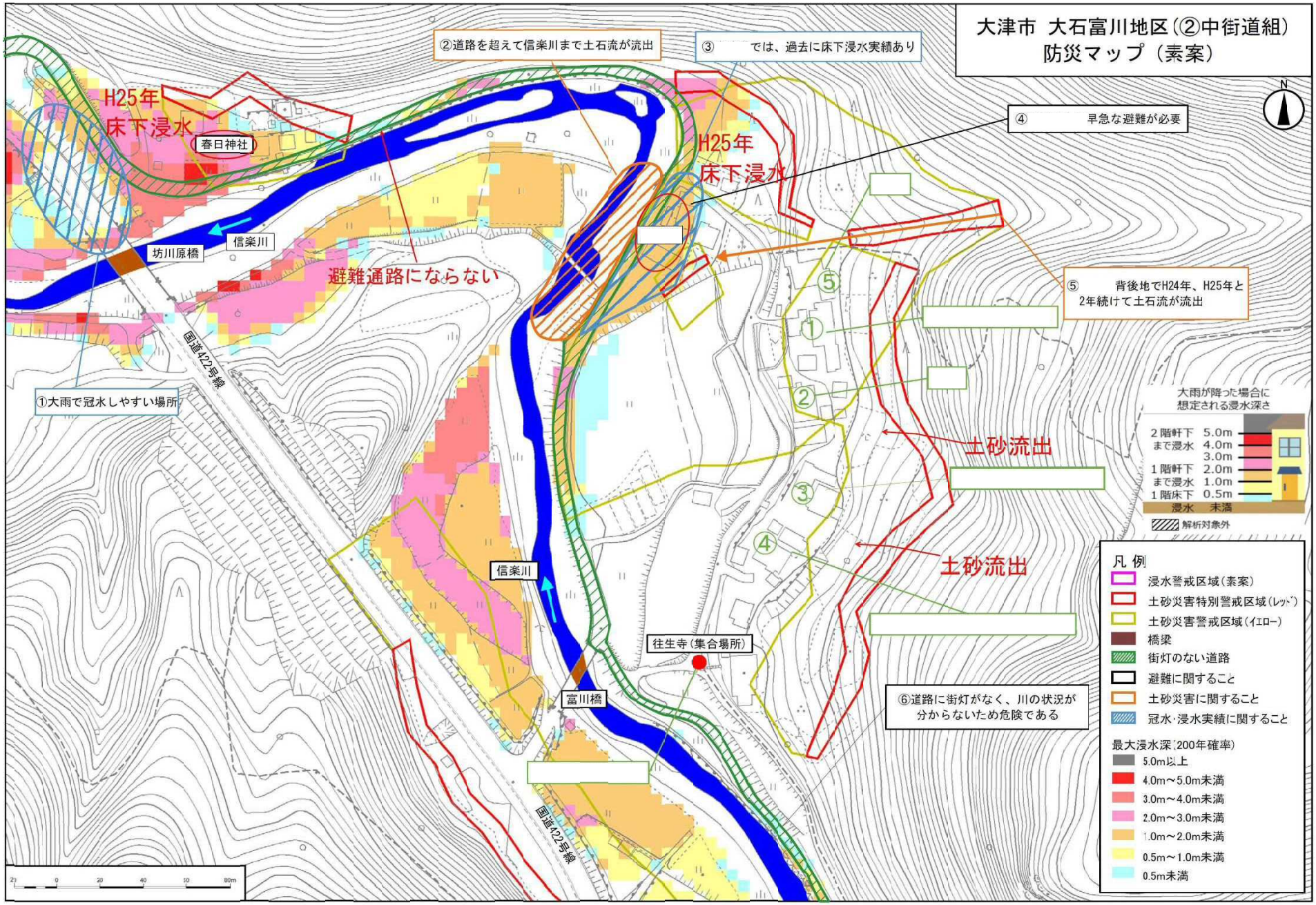


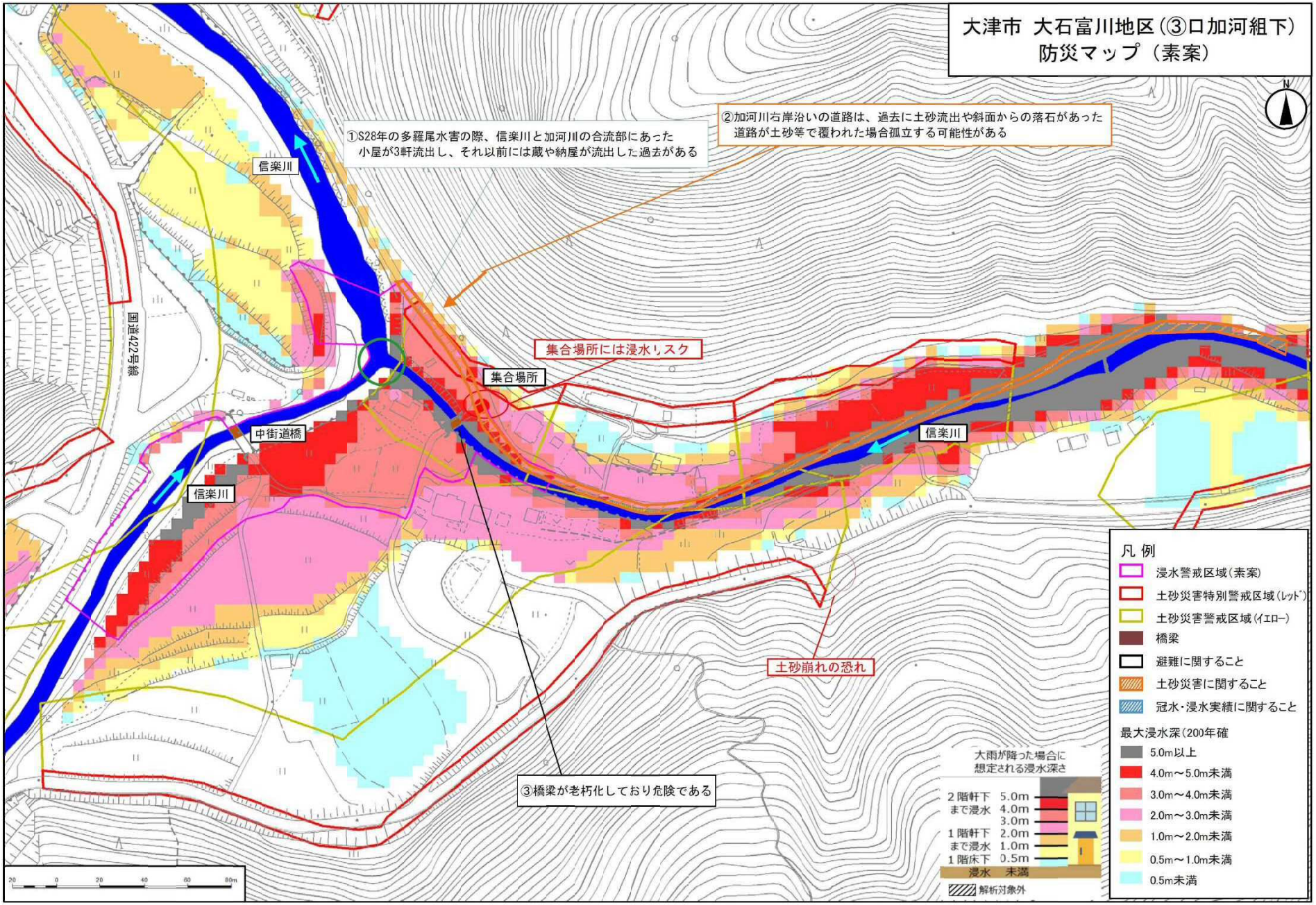


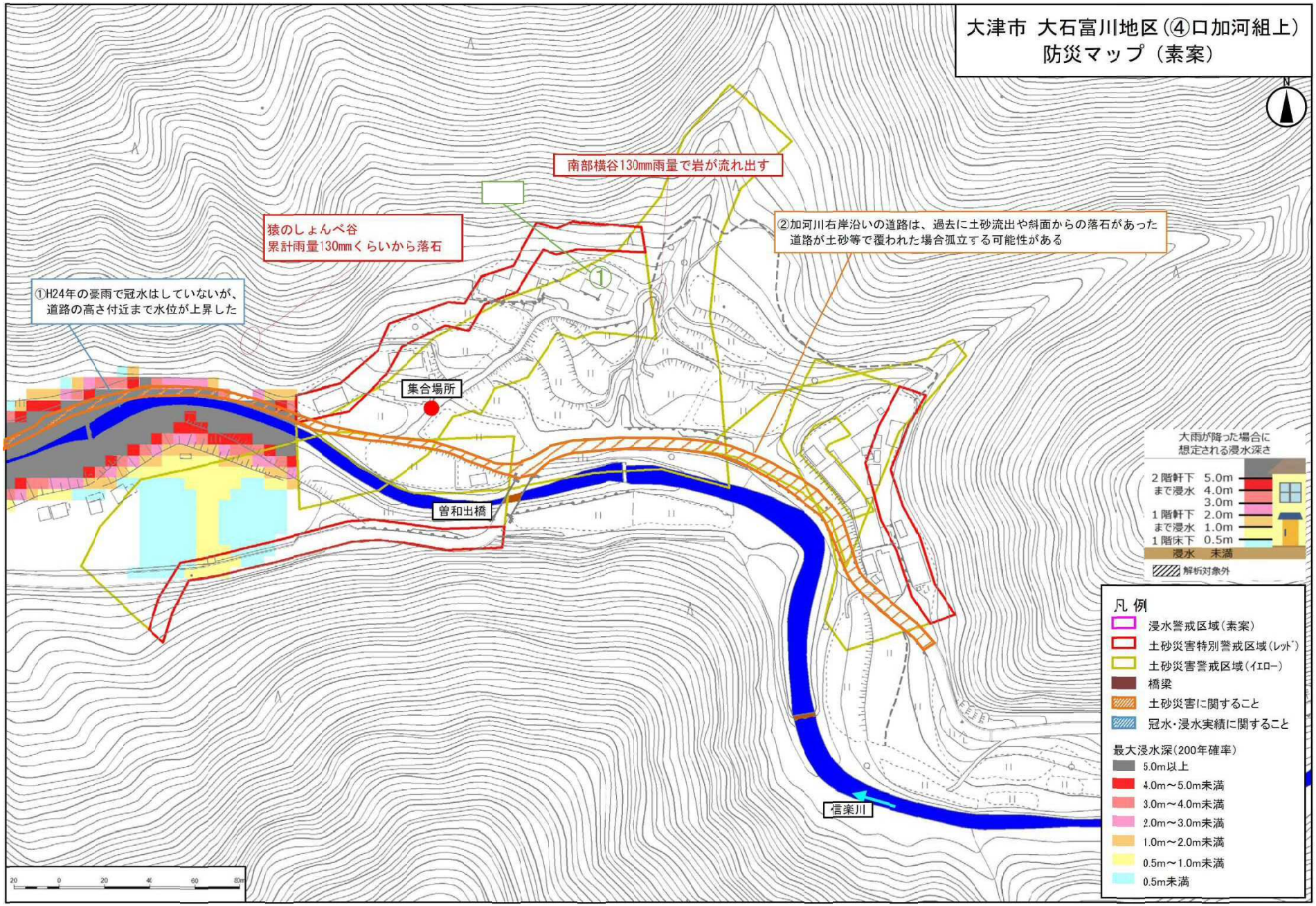


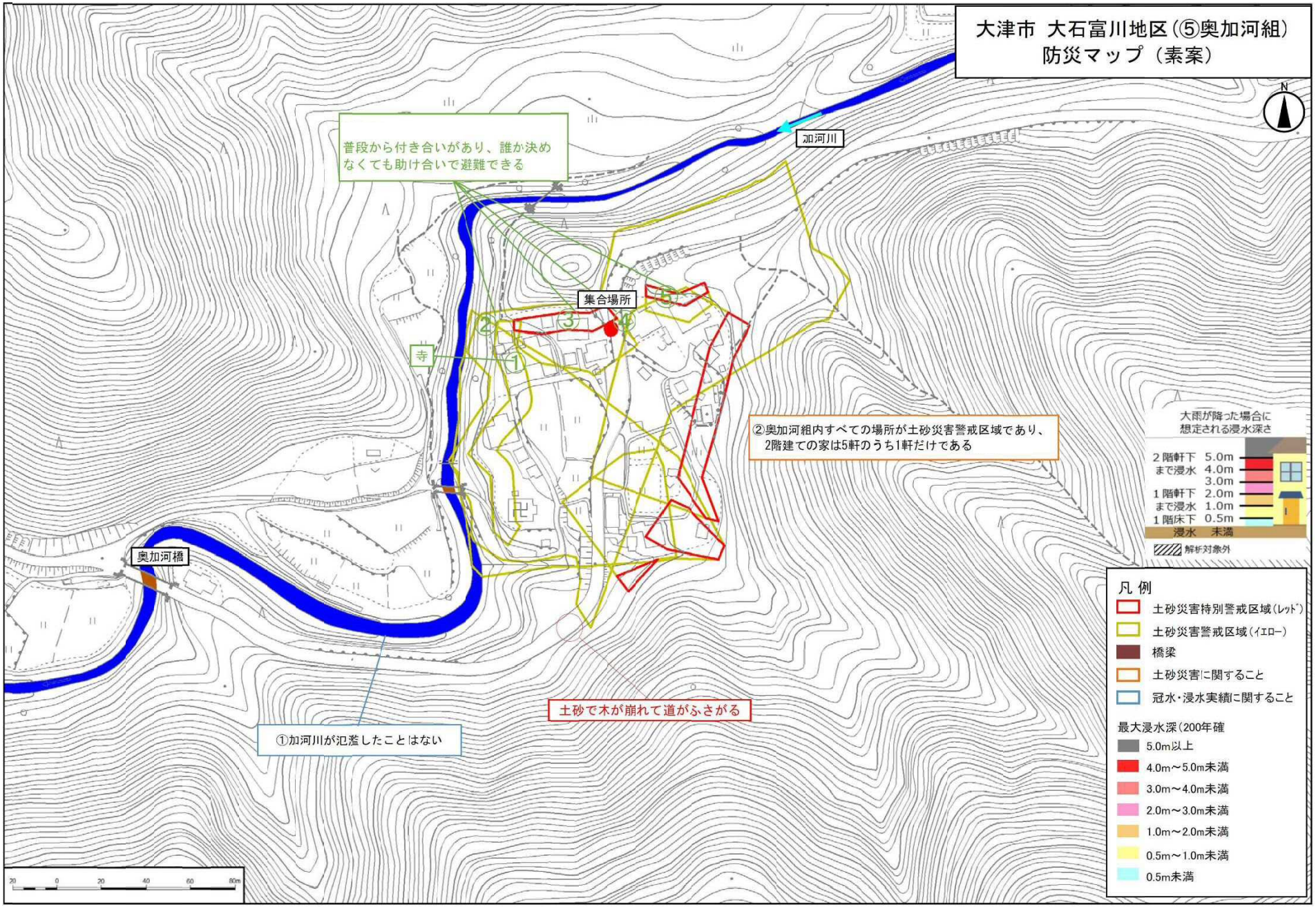


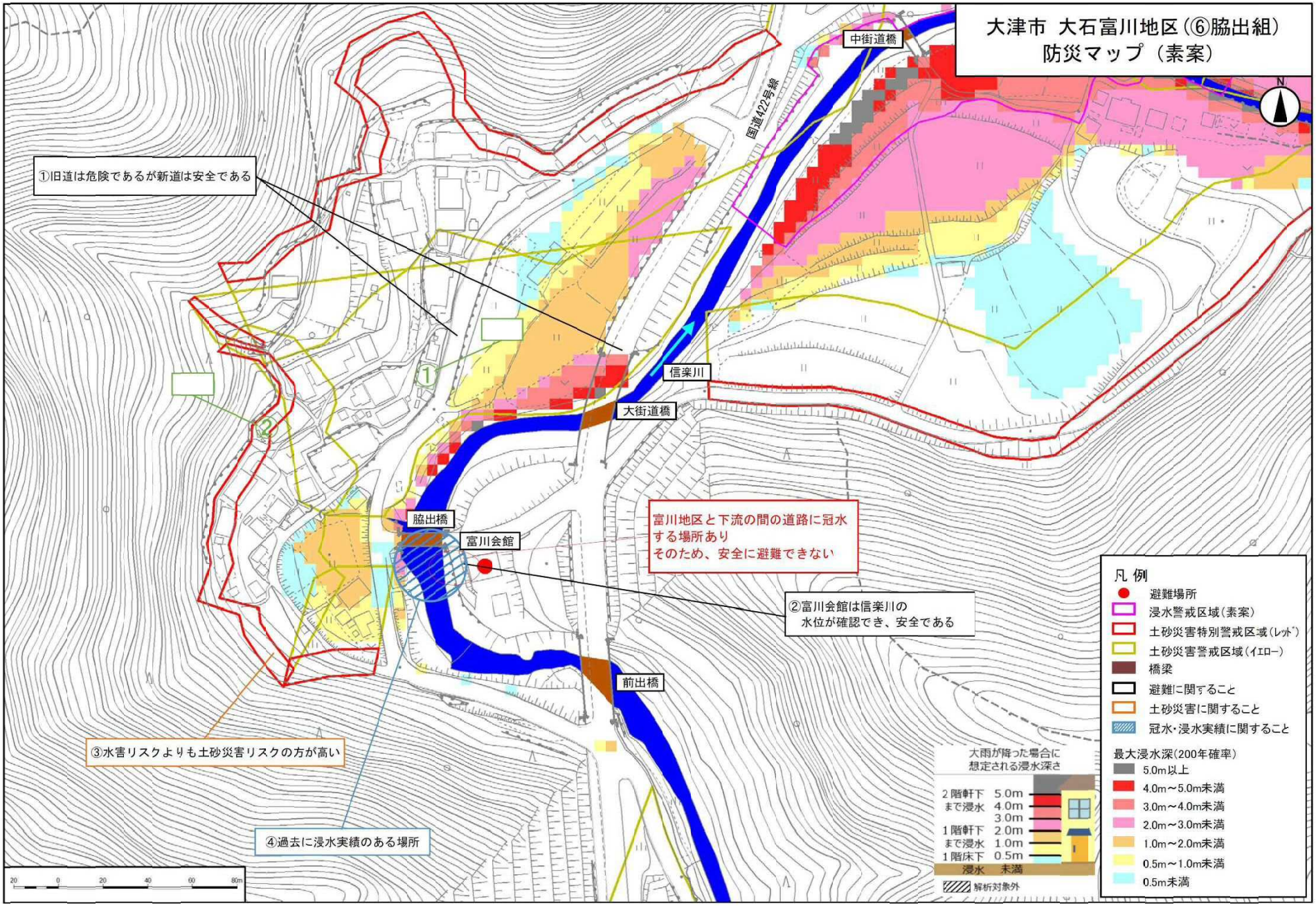


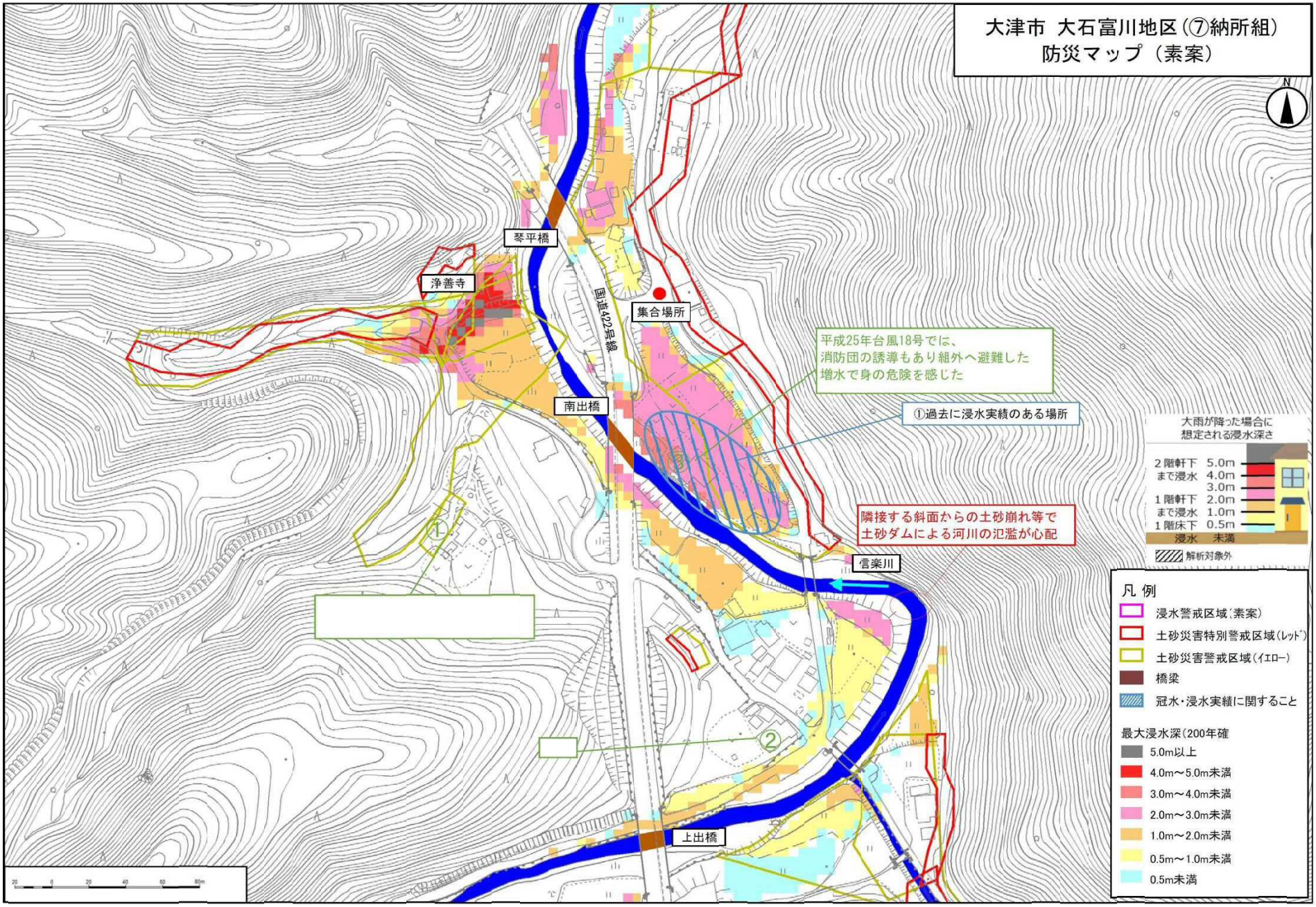

大津市 大石富川地区（②中街道組）
防災マップ（素案）
②道路を超えて信楽川まで土石流が流出
③　　では、過去に床下浸水実績あり
④　　早急な避難が必要
⑤　　背後地でH24年、H25年と
2年続けて土石流が流出
H25年
床下浸水
春日神社
H25年
床下浸水
坊川原橋
信楽川
避難通路にならない
国道422号線
①大雨で冠水しやすい場所
土砂流出
土砂流出
信楽川
往生寺（集合場所）
富川橋
⑥道路に街灯がなく、川の状況が
分からないため危険である
大雨が降った場合に
想定される浸水深さ
2階軒下 5.0m
まで浸水 4.0m
3.0m
1階軒下 2.0m
まで浸水 1.0m
1階床下 0.5m
浸水　未満
解析対象外
凡例
浸水警戒区域（素案）
土砂災害特別警戒区域（レッド）
土砂災害警戒区域（イエロー）
橋梁
街灯のない道路
避難に関すること
土砂災害に関すること
冠水・浸水実績に関すること
最大浸水深（200年確率）
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満


大津市 大石富川地区（③口加河組下）
防災マップ（素案）
①S28年の多羅尾水害の際、信楽川と加河川の合流部にあった
小屋が3軒流出し、それ以前には蔵や納屋が流出した過去がある
②加河川右岸沿いの道路は、過去に土砂流出や斜面からの落石があった
道路が土砂等で覆われた場合孤立する可能性がある
信楽川
国道422号線
集合場所には浸水リスク
集合場所
中街道橋
信楽川
信楽川
土砂崩れの恐れ
③橋梁が老朽化しており危険である
凡 例
浸水警戒区域（素案）
土砂災害特別警戒区域（ﾚｯﾄﾞ）
土砂災害警戒区域（ｲｴﾛｰ）
橋梁
避難に関すること
土砂災害に関すること
冠水・浸水実績に関すること
最大浸水深（200年確
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
大雨が降った場合に
想定される浸水深さ
2階軒下 5.0m
まで浸水 4.0m
3.0m
1階軒下 2.0m
まで浸水 1.0m
1階床下 0.5m
浸水 未満
解析対象外


大津市 大石富川地区（④口加河組上）
防災マップ（素案）
南部横谷130mm雨量で岩が流れ出す
猿のしょんべ谷
累計雨量130mmくらいから落石
①H24年の豪雨で冠水はしていないが、
道路の高さ付近まで水位が上昇した
②加河川右岸沿いの道路は、過去に土砂流出や斜面からの落石があった
道路が土砂等で覆われた場合孤立する可能性がある
集合場所
曽和出橋
信楽川
大雨が降った場合に
想定される浸水深さ
2階軒下 5.0m
まで浸水 4.0m
3.0m
1階軒下 2.0m
まで浸水 1.0m
1階床下 0.5m
浸水 未満
解析対象外
凡例
浸水警戒区域（素案）
土砂災害特別警戒区域（ﾚｯﾄﾞ）
土砂災害警戒区域（ｲｴﾛｰ）
橋梁
土砂災害に関すること
冠水・浸水実績に関すること
最大浸水深（200年確率）
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満


大津市 大石富川地区（⑤奥加河組）
防災マップ（素案）
N
加河川
普段から付き合いがあり、誰か決め
なくても助け合いで避難できる
集合場所
寺
奥加河橋
②奥加河組内すべての場所が土砂災害警戒区域であり、
2階建ての家は5軒のうち1軒だけである
土砂で木が崩れて道がふさがる
①加河川が氾濫したことはない
大雨が降った場合に
想定される浸水深さ
2階軒下 5.0m
まで浸水 4.0m
3.0m
1階軒下 2.0m
まで浸水 1.0m
1階床下 0.5m
浸水 未満
解析対象外
凡例
土砂災害特別警戒区域（ﾚｯﾄﾞ）
土砂災害警戒区域（ｲｴﾛｰ）
橋梁
土砂災害に関すること
冠水・浸水実績に関すること
最大浸水深（200年確
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
20 0 20 40 60 80m


大津市 大石富川地区（⑥脇出組）
防災マップ（素案）
①旧道は危険であるが新道は安全である
中街道橋
国道422号線
信楽川
大街道橋
脇出橋
富川会館
富川地区と下流の間の道路に冠水する場所あり
そのため、安全に避難できない
②富川会館は信楽川の水位が確認でき、安全である
前出橋
③水害リスクよりも土砂災害リスクの方が高い
④過去に浸水実績のある場所
大雨が降った場合に想定される浸水深さ
2階軒下まで浸水 5.0m
4.0m
3.0m
1階軒下まで浸水 2.0m
1.0m
1階床下浸水 0.5m
未満
解析対象外
凡例
避難場所
浸水警戒区域（素案）
土砂災害特別警戒区域（レッド）
土砂災害警戒区域（イエロー）
橋梁
避難に関すること
土砂災害に関すること
冠水・浸水実績に関すること
最大浸水深（200年確率）
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
20 0 20 40 60 80m


大津市 大石富川地区（⑦納所組）
防災マップ（素案）
琴平橋
浄善寺
国道422号線
集合場所
南出橋
平成25年台風18号でに、
消防団の誘導もあり組外へ避難した
増水で身の危険を感じた
①過去に浸水実績のある場所
隣接する斜面からの土砂崩れ等で
土砂ダムによる河川の氾濫が心配
信楽川
上出橋
大雨が降った場合に
想定される浸水深さ
2階軒下 5.0m
まで浸水 4.0m
3.0m
1階軒下 2.0m
まで浸水 1.0m
1階床下 0.5m
浸水 未満
解析対象外
凡 例
浸水警戒区域（素案）
土砂災害特別警戒区域（レッド）
土砂災害警戒区域（イエロー）
橋梁
冠水・浸水実績に関すること
最大浸水深（200年確
5.0m以上
4.0m～5.0m未満
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満